



加藤なを子 活動レポート

県政へのかけ橋



日本共産党の見解を紹介します。

発行：日本共産党・加藤なを子事務所 <連絡先> 藤沢市藤沢2-3-2 Tel.0466-25-4776 fax 25-4761

県政 変えよう

全員制の中学校給食へ

私は県議の時、共産党県議団として「中学校給食促進事業費補助制度」を創設して市町村が中学校給食を実施できるよう県として支援すべきと提案しました。
県が市町村を応援する補助制度をつくることで、市の財政負担を減らせ、中学校給食の実現へ大きく前進できます。



県知事予定候補・岸牧子さん（左）と加藤なを子（右）

神奈川県は「中学校給食の実施率が全国最下位」です。藤沢市ではデリバリー弁当を中学校給食としています。これは「アレルギー対応はできない」、「給食費補助300円はデリバリー弁当を注文した生徒だけにしかない」のです。

「小学校のような全員制の中学校給食をめざす藤沢の会」は、去年12月に「小学校のような全員制の中学校給食の実施を市に働きかけることを求める請願」と、3494筆の署名を市議会に出しました。賛成したのは共産党議員だけで不採択となりました。今、市長・教育長への署名を始めています。

高齢者の移動の支援を



私は県議の時、市町村事業としているシルバーパスやコミュニティバス、デマンドバスなど、高齢者の外出支援を、県としてもおこなうよう求めました。県の「高齢者の移動支援事業補助金」があれば、市町村の事業を後押しし、高齢者がバスなどを使って、自由に気軽に外出ができます。

岸牧子さんと一緒に、皆さんと一緒に、県政を変えましょう

(県知事予定候補・岸牧子さん)

(平和で明るい神奈川県政をつくる会・日本共産党・推薦)

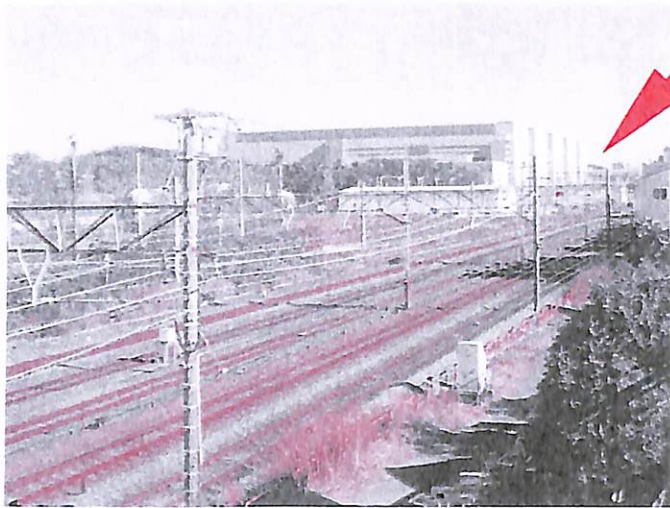
「ジェンダー平等社会・省エネ100%・命と健康を守り、憲法を活かし、核も基地もない神奈川へ」市民がつながり、私たちの手に県政を取り戻しましょう。

なを子の花だより

スイセンの花言葉は「うぬぼれ」「自己愛」。スイセンの学名はギリシャ神話のナルキッソスのストーリーをもとにして、つけられたそうです。



ここに村岡新駅?!



藤沢駅←4分→大船駅

<距離は約4.6km>

村岡新駅は、線路奥の白い建物の横あたりの線路上にできる橋上駅舎で建設予定です。巨大な建物は、旧武田薬品研究所現在は湘南ヘルスケアイノベーションパークです。駅はそのすぐ前に！

これまで黒岩知事は、「県は武田薬品と連携したヘルスケア分野の産業創出」のため、新駅設置を行なうとコメントしています。住民の利便性の向上ではなく、大規模開発・大企業支援が目的です。日本共産党県議団は、このような新駅設置に、多額の税金を使うことは中止すべき、と主張してきました。**総事業費は270億円以上です。**

藤沢市は、藤沢市議会2022年12月定例会の常任委員会で、村岡工区の事業費について

2017年度の68.1億円→→81.8億円に増加したと報告しています。

税金のムダづかいをやめ、村岡新駅事業の中止を求めます。

新駅設置を巡っては、2022年3月県と藤沢市、鎌倉市、JR東日本が基本協定を締結しました。22～23年度までの2年間、詳細設計を行い、24年度以降、施行協定を締結し、工事に着手。32年頃の開業を見込んでいます。



3月11日辻堂コープ前でシール投票。
加藤なを子は左

3. 11福島を忘れない、「原発回帰」ストップ。

- ◆石炭火力や原発に頼らない再エネ・省エネ推進で、エネルギーの自給率アップを。
- ◆持続可能な再生可能エネルギーへ転換をはかります。
- ◆地球を熱くする石炭火力発電は廃止させましょう！
- ◆横須賀の石炭火力発電所の稼働を中止させましょう。



3. 11宣伝（藤沢駅南口）